

小規模自治体における ポピュレーションアプローチ型 「親子あそび教室パッケージ」の 開発と実践



国際医療福祉大学 作業療法学科

4年 小山田 唯翔

担当教員 関森 英伸

国際医療福祉リハビリテーションセンター なす療育園

作業療法士 小澤 巴菜

はじめに（事業概要）

① 本事業の実施体制

「那須町子育て支援センター」「国際医療福祉大学」「なす療育園」が連携して実施　＊作業療法学科教員、学生が参画

② 本事業の主目的

主な目的は「子育て支援」であり、発達が気になる子どもや、子育てに不安や困り感を抱く保護者を早期から支援すること

③ 本事業の取り組み内容

那須町で開催されている「親子遊び教室」の課題から、地域社会の実情に合わせたポピュレーションアプローチ型「親子遊び教室」を開発・展開し、有用性を検証する

④ 本事業の展望

開発したパッケージは、次年度以降、県内協力可能な小規模自治体にも導入し、すべての子どもと保護者を地域で支える体制づくりの一つのモデルとすることを計画

事業背景（活動地域の現状）

・ 栃木県那須郡那須町について

人口約23,000人の小規模自治体（大田原市：68,000人）

近年は人口減少とともに出生数も減少傾向

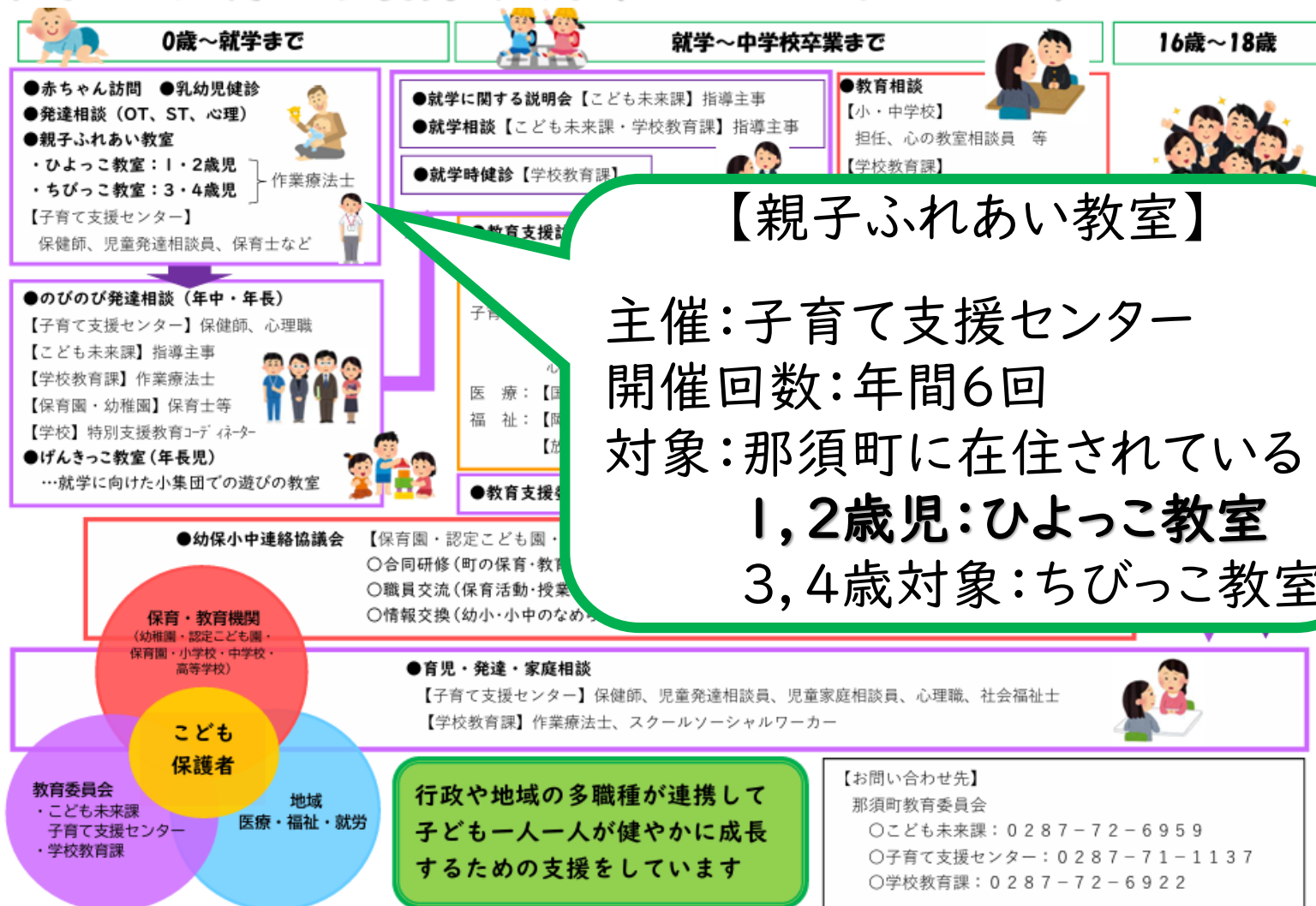
出生数（那須町の統計書）

H22	158
H27	132
H28	145
H29	111
H30	92
R1	107
R2	81
R3	85
R4	77
R5	55
R6	54



事業背景（活動地域の子育て支援体制）

・那須町の子育て支援体制（出生～成人まで）



事業背景（現「親子遊び教室」の課題）

・那須町親子遊び教室の課題

①参加しづらいイメージの存在

「親子遊び教室に誘われる＝何か問題がある」と受け取る保護者が一定数おり、参加をためらう傾向

②対象者の少なさによる教室運営の困難

小規模自治体ではハイリスク児の人数が限られ、ハイリスク対象児のみでは集団として成立しづらく、安定した教室運営が難しい

③保護者支援の限界（事業利用の局所化）

核家族化が進み障がいの有無に関わらず子育てに不安を抱く保護者が増えているが、自治体事業の利用者は限定され、支援が届きにくい



子育て支援体制が整備されていても、現状の課題が放置されると乳幼児期の子育て支援は“脆弱化する”可能性が高い

事業背景（課題解決に向けて）

・先行研究より

ポピュレーションアプローチ*を用いた町全体で住民を支える活動が報告されている

＊特定の問題を持つ人だけでなく、**集団全体を対象に、広く・早く・偏りなく健康リスクを下げることを目的とした一次予防の方法**

高齢者分野：自治体による高齢者保健事業と介護予防

➡フレイル対策健康教育や全住民への通いの場活動に
ポピュレーションアプローチを活用（厚生労働省2024）

母子保健分野：子育て世代包括支援センターにおける研究

➡妊娠届・乳幼児健診で「ちょっと気になる」層の支援にも
つなげる仕組みを作ったポピュレーションアプローチ
（子ども家庭庁2024）

➡**子育て支援プログラムにおけるポピュレーションアプローチ
導入（三鷹市2022：令和4年度厚生労働省母子保健指導者養成研修より）**

方法（ポピュレーション型の準備）

・ハイリスク型からポピュレーション型「親子遊び教室」へ

	ハイリスク型（従来型）	ポピュレーション型（今回）
対象者	1, 2歳の健診や園生活等で発達が気になる児と家族（限定）	健診（1歳6ヶ月）対象児と家族（全員）
アナウンス方法	保健師、保育士等からの誘い参加を続けることを推奨する	「健診のお知らせ」に「チラシ」を同封 健診回以降も参加できることを保障する
参加・実施方法	平日の午前中（年間6回） 予定に合わせて保健師から促し	平日の午前中（ 健診同日 、年6回） 健診に合わせ午前中から参加促し
評価・経過	運営する職員（保健師、保育士、OT等）の観察・意見を文字で記録	ループリック評価表 （可視化され、到達度合をチェックする表）で記録

ポピュレーションアプローチ型「親子遊び教室」の特徴：

- ①健診日（ほぼ全母子が参加）と**同日に実施**するスケジュール
- ②職員が同じ視点で親子を把握し、経過を追える内容・**評価表導入**
- ③ ①②をパッケージ化し、経験の有無等に影響されない質の担保


方法(ポピュレーション準備)

・ハイリスク型からポピュレーション型「親子遊び教室」へ

1歳6ヶ月児健康診査のご案内

1歳6か月のお子さんを対象に健診と親子ふれあい教室『ひよっこ教室』を実施します。
お子さんがこれからも元気にのびのびと育つための1日にしましょう。

★1歳6か月児健診はお申し込みが必要です!!★
健診の2週間前までにお申し込みください

お申込みはこちら⇒ 

【日にち】 令和8年1月16日(金)

【受付】 9時30分～9時40分
※午前中、都合がつかない場合13時00分～13時10分

【タイムスケジュール】裏面をご覧ください。

【会場】 ゆめプラザ・那須 集団健診室
※正面駐車場を利用し、正面玄関からお入り下さい。
子育て支援センター入り口からは入れません。



【健診内容】①受付 ②身体計測 ③発達確認 ④親子ふれあい教室
⑤診察(内科・歯科) ⑥歯みがき指導 ⑦健診結果説明・育児相談
※歯科診察がありますので歯みがきをしてお越しください。

【持参するもの】①母子手帳 ②1歳6ヶ月児健康診査票 ③1歳6ヶ月児健診用アンケート
④飲み物・タオル
※健診票やアンケートは必要事項をご記入の上、ご持参ください。

〈ゆめプラザ・那須で昼食を食べる方〉
①昼食 ②歯ブラシ(食後の歯みがきにご利用ください。)

〈転入の方〉
①虫歯予防・口腔機能個人票 ②子どもすこやかファイル
※提出が必要な方へ同封してあります。

【お願い】①欠席する場合は子育て支援センターまでご連絡ください。
②体調不良や身体に発疹等がある時は事前に主治医にご相談ください。

  裏面をご覧ください

那須町子育て支援センター主催
国際医療福祉大学作業療法学科共催

親子ふれあい教室 「ひよっこ教室」 2025

お知らせ

お子さんの“できた！”を一緒に見つけてみませんか？

どんな感じ？

子どもの様子を
親ながら一緒に
遊びましょう！

「親子遊び教室」というと
構えてしまうご家族もいる
かもしれません。大丈夫、
こちらで用意した“遊び”に
お子さんがどのような応答
をするかを一緒に観て、
楽しそうだったら遊ぶだけ。
「1歳半健診」の午前中、
我々と一緒にお子さんの
“できた！”を探しましょう。

動いて

体をうごかしてみよう！

前半はお子さんの様子に
合わせて、簡単な動きを
から、少しずつバランスを
とる遊びを展開します。

座って

座って遊んでみよう！

後半は身の回りにあるもの
を使い、座って遊びます。
手を使ったり、親子で一緒
にできる遊びを展開します。

【対象】1歳6ヶ月～3歳程度(R4.4.2～R6.4.1生)

【場所】ゆめプラザ・那須内

【日程】9月6日(土)、11月14日(金)
1月16日(金)、3月13日(金)

【時間】10:00～11:30(9:45～受付)

【持ち物】母子手帳・水筒・タオル

那須町子育て支援センター(ゆめプラザ・那須内)
〒329-3215
栃木県那須郡那須町大字寺子乙2566-1
TEL: 0287-71-1137 詳細情報はこちら⇒ 

各回『おもちゃのおみやげ』付き！

何がもらえるかな？
おうちでさらに遊ぼう！

リピーター大歓迎!!

お申し込みはこちら⇒ 

健診のお知らせ

+

チラシ

方法(ポピュレーション準備)

・ハイリスク型からポピュレーション型「親子遊び教室」へ

時間	流れ
9:30	・1歳6ヶ月健診受付開始 *ひよっこ教室打合せ
9:40	・身体計測／発達確認／ 育児相談 *ひよっこ教室準備
10:00	ひよっこ教室
11:30	休憩室または一度帰宅し昼食 *ひよっこ教室カンファレンス
	休憩
13:15	虫歯予防講話／個別相談
13:30	内科・歯科診察
13:45	健診結果説明・育児相談

スケジュール

振り返りシート					Ver.2025(ひよっこ教室)	
※このシートは、親子ふれあい遊び教室における子どもと保護者の様子を大まかに把握することを目的としています					記入日:	
氏名	a	性別	男			
生年月日	2024/2/24	年齢	1年6ヶ月			
参加回数	1回目	園利用状況				
フォロー歴	あり	特記事項				
II. 子どもの様子 (1) 子どもの様子として最も近いものについてください						
番号	チェック項目	4	3	2	1	特記事項
1	子どもが場・遊びに慣れたと 感じられたタイミング 【場面適応】	導入(手遊び・絵本)から 慣れて参加	前半の活動(お馬、空飛ぶじゅう たん/プランコ)から慣れて参加	前半最後の活動(サーキット以 降)または、後半の活動(新聞 紙・ホイル遊び以降)から慣れて 参加	導入からクールダウンまで 慣れずに終わった	
2	親子遊び中の過ごし方 【基本的信頼・場面適応】	活動中は離れて、 終始注意に活動に取り組む。 活動後は親の近くに戻る	遊びより保護者から離れて遊 ぶことがある	終始保護者から離れて促しても 何となく遊ぶ、または、どの活動も 食いつかず飽きやすくなる	終始保護者から離れて促しても 何も行わない、または、終始泣き ながら過ごす	
3	表情・感情の表出 【興味関心・模倣】	喜怒哀楽がとても豊か 【子どもが楽しんでいる】	喜怒哀楽がまずまず豊か 【まずまず楽しんでいる】	喜怒哀楽が読み取りにくい 【緊張・硬さあり】	喜怒哀楽が読み取れない 【無表情】	
4	保護者/大人との関わり 【基本的信頼・場面適応】	どの場面でも抱った時・心配な 時などに、保護者/大人を求め、 様子が適度に見られる	場面により抱った時・心配な時な どに、保護者/大人を求め、様子が 適度に見られる	保護者/大人を求め、様子が適 度に、または、保護者/大人を強く 求める	常に保護者/大人を求めずに 一人で過ごす	
5	他児との関わり 【場面適応・社会性】	どの場面でも他児を意図する 様子があり、保護者が抱いてい れば他児と関わりが保たれる	場面により他児を意図する 様子があり、保護者が抱いてい れば他児と関わりが保たれる	他児を意図する様子はほとんど ないが、保護者が抱いていれば一 瞬は関わる	他児を意図する様子はなく、 保護者が抱いても他児と過ごす ことは難しい	
6	言葉かけ・状況の理解 【言語理解・状況理解】	言葉かけまたは周りの状況を 要するよう理解している	言葉かけまたは周りの状況を見 てまずまず理解している	言葉かけまたは周りの状況を見 てもあまり理解していない	言葉かけまたは周りの状況を見 ても全く理解していない	
7	感情のある言葉/非言語の表 【言語・非言語表出】	2語以上の単語、または、自発的 な非言語の表出(指差し、 サイン等)に加えて、「もう一 回、もう一度」など要求表現が見られる	相手に対して単語の表出、また は、自発的な非言語の表出 (指差し、サイン等)が見られる	場面・相手に関係なく、単語表 出が見られる、または、独り言が 見られる	単語表出が見られる、または 言語・非言語表出が見られない	
8	他児との関わり合い方 【社会性】	どの場面でも、他者としっかり 関わり合う	場面により他者としっかり関 わり合う	他者と視線が合っていない/声 が弱く伝わる	他者と視線が合うことはない	
					合計	(24) 32
(2) 子どもが特に興味・関心があると感じられた活動に○をつけてください(複数可) ①手遊び・絵本 ②お馬の親子 ③空飛ぶじゅうたん/プランコ ④サーキット ⑤新聞紙・ホイル遊び(ビリビリ・ひらひら含む) ⑥おもちゃ遊び ⑦洗濯ばさみ遊び ⑧ミスト						
(3) 感覚の振りについてあてはまるものに○をつけてください 視覚:過敏・鈍麻 聴覚:過敏・鈍麻 触覚:過敏・鈍麻 味覚:過敏・鈍麻 嗅覚:過敏・鈍麻 温度覚:過敏・鈍麻 痛覚:過敏・鈍麻 平衡覚:過敏・鈍麻 運動覚:過敏・鈍麻						
(4) その他、子どもの様子について残しておきたい記録があればご記入ください						
II. ご家族の様子 ご家族の様子についてお聞きします。ご家族の様子として最も近い様子に○をつけてください。						
番号	チェック項目	4	3	2	1	特記事項
1	遊びの中で子どもをよく観察 しているか	子どもをよく観察している	子どもをまずまず観察している	子どもをあまり観察していない	子どもを全く観察していない	
2	子どもが自分の様子に応じて 余剰をもつて過剰している	まずまず子どもの様子に応じた 余剰をもつて過剰している	まずまず子どもの様子に応じた 余剰をもつて過剰していない (表情が硬い・緊張感等)	あまり子どもの様子に応じた 余剰をもつて過剰していない (表情が硬い・緊張感等)	全く子どもの様子に応じた余 剰をもつて過剰していない (表情が硬い・緊張感等)	
3	子どもからの働きかけへの応 答	常に表情・タイミング良く子 どもに応じている	まずまず(欲を言えばもう少し適 度)に子どもに応じている	あまり表情・タイミング良く子 どもに応じしていない	全く表情・タイミング良く子 どもに応じしていない	
4	ご家族の子どもとの距離感	常に子どもの様子に応じた 適度な距離感がある	まずまず子どもの様子に応じた 適度な距離感がある	距離感がとれず離れすぎたり近 すぎることが多い	全く子どもの様子に応じた 距離感がとれず、常に離れすぎ たり近すぎたり	
5	子どもが自分の様子に応じて 働きかけ(言葉や行動など)が できる	常に子どもの様子に応じた 働きかけ(言葉や行動など)が できる	まずまず子どもの様子に応じた 働きかけ(言葉や行動など)が できる	あまり子どもの様子に応じた 働きかけ(言葉や行動など)が できない	全く子どもの様子に応じた 働きかけ(言葉や行動など)が できない	
					合計	(15) 20
その他、保護者の様子について残しておきたい記録があればご記入ください						

ループリック評価表

方法（事業概要）

・ポピュレーションアプローチ型「親子遊び教室」の運営・有用性検証

実施者：那須町子育て支援センター職員

国際医療福祉大学学生及び教員、なす療育園作業療法士

対象者：1歳6か月健診/親子遊び教室対象児及び保護者（55組）

実施場所：那須町子育て支援センター集団検診室

実施日程：隔月第2金曜日（9:30～12:00）

実施回数：5回（7月, 9月, 11月, 1月, 3月）

実施内容：

①事前カンファレンス・準備：30分

②親子遊び実施：90分

③アンケート回答依頼（保護者）

④事後カンファレンス・片付け：30分

⑤アンケート回答依頼（学生・職員）

分析方法：アンケート結果をもとに記述統計、自由記載を整理

方法（親子遊び当日の様子）

・カンファレンスの様子 （本日の参加者・担当確認）

学生

教員

OT



保健師

保育士

・事前準備



方法（親子遊び当日の様子）

・前半（導入と動的活動）の様子



方法（親子遊び当日の様子）

・後半（静的活動）の様子



お家で⑥を再現できるおみやげ付



⑥やりとり遊び



⑦洗濯ばさみ遊び



結果（参加状況）

・『親子遊び教室』参加状況：

①職員：各回7～8名

②学生：7月5名 9月6名、11月7名、1月0名、3月4名

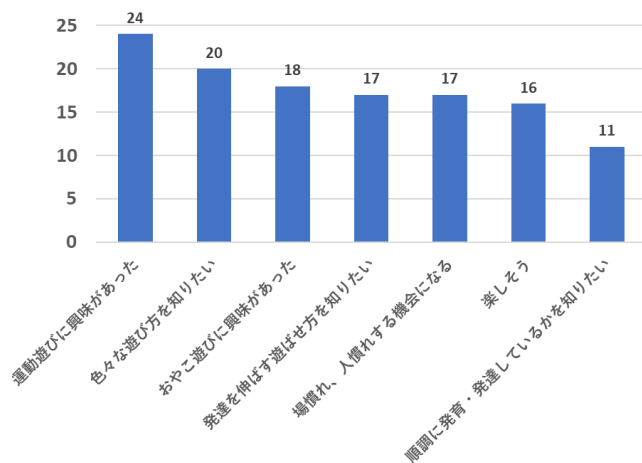
③参加者：

	1歳6ヶ月健診同日 『親子遊び教室』 参加者割合（組）	1歳6ヶ月健診別日 『親子遊び教室』 参加者（組）	『親子遊び教室』 リピーター 参加者（組）	親子遊び 参加者 合計（組）
7月	<u>4</u> /17 (23.5%)	2	3	9
9月	*健診別日（土曜）開催： トライアル	6	4	10
11月	<u>1</u> /12 (8.3%)	1	3	5
1月	<u>2</u> /5 (40%)	2	5	9
3月	/6 (%)	未	未	未
合計	<u>7+α</u> /40	11	15	33

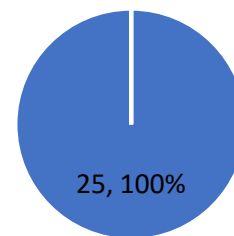
結果（保護者からの感想）

・保護者へのアンケート結果：n=25名

教室に何を期待していましたか？（複数回答可）



実際に参加してみてどうでしたか？



- 期待通りだった
- まあまあ期待通りだった
- わからない
- 少し期待外れだった
- 全く期待外れだった

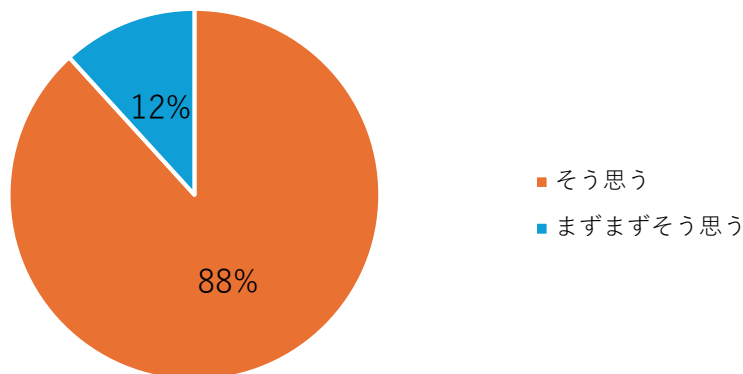
【自由記載より】

- ・託児もあり気兼ねなく参加できるのでとても助かる。
- ・家でも実践できることがあったのでやってみようと思う。
- ・たくさんの人と関わる機会少ないのでよかった。
- ・こんなに長い時間二人きりで向き合って集中して遊んだのは初めてだったかも。
- ・遊びながらのスタッフのアドバイスが子どもと遊ぶときの気づきや工夫のヒントになる。
- ・最初は一人でできなかった遊びも、最後は一人でできるようになり本人の自信に。

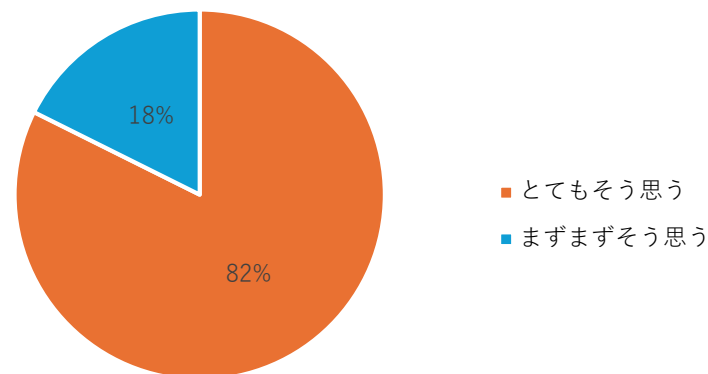
結果（学生からの感想）

・学生へのアンケート結果：n=17名

親子遊び教室に参加し、作業療法学科でこれまでに学んできた座学や臨床経験は役に立ちましたか？



今後も地域支援活動（親子遊び教室に限らず）に関わってみたいと思いますか？



【学生の感想より】

◆これまでの座学や臨床経験は役に立っているか？

- ・発達段階や遊びの重要性を、実際の親子観察を通して深く理解できた。
- ・臨床実習で培った観察視点や声かけの工夫が、親子遊びの場面で活かした。

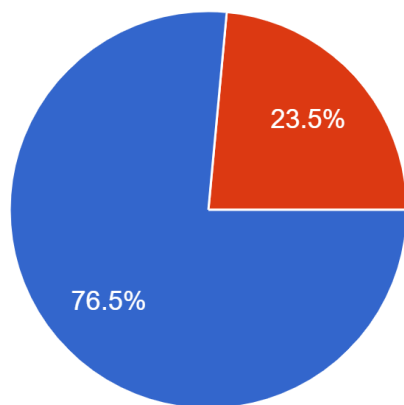
◆印象に残った場面や気づきは？

- ・親子遊びは、子どもの安心感や信頼関係を育てる重要な手段であることが分かった。
- ・子どもの反応の背景を理解し、関わりや環境を工夫することで変化を引き出せると感じた。
- ・子どもだけでなく、保護者や環境を含めた多角的な観察・評価が重要であることが分かった。

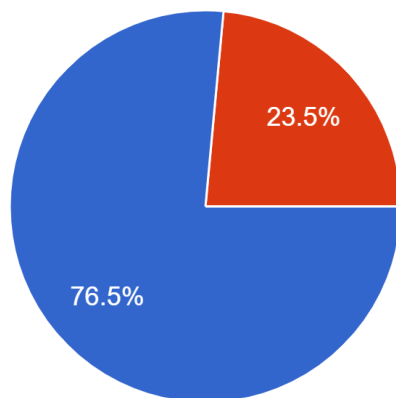
結果（職員からの感想）

・職員へのアンケート結果：n=12名

親子遊びの目標は達成できましたか？



パッケージ化された親子遊び教室（1，2歳版）をこれからも継続したいと思いますか？



- とても思う
- まずまず思う
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

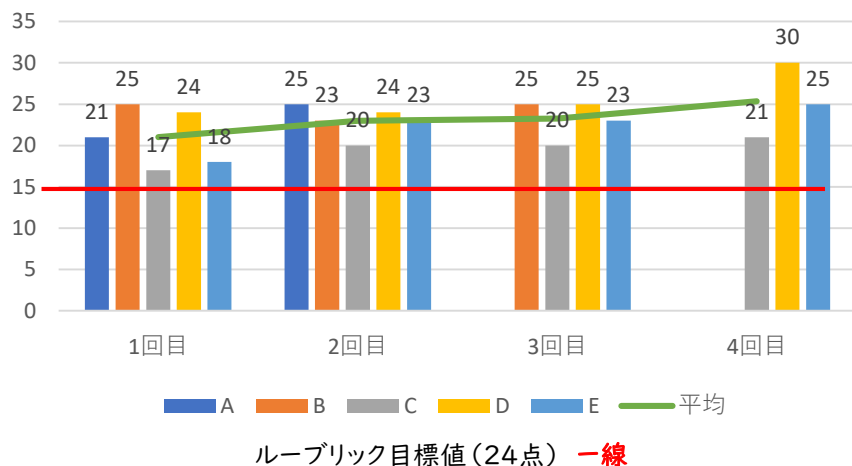
【自由記載より】

- ・各回繰り返し同じ遊びを行うことで、子ども・保護者の経過を追いややすい
- ・リピーターの保護者では、声かけや関わり方、表情の変化が分かりやすい
- ・現在の親子遊びの内容が、支援者にとっても関わりやすい構成である
- ・デジタル化・多様化が進む中で、子育てに迷う保護者へのヒントとなっている
- ・親子で楽しく過ごすきっかけとなり、ふれあい遊びの大切さを体感できる
- ・遊びの中で、支援が必要な親子や気になる点を把握しやすい

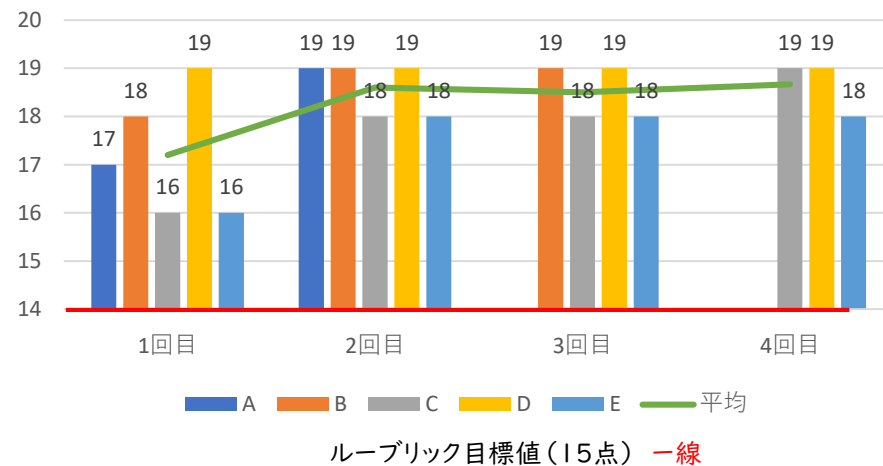
結果（リピーターの存在とループリック評価）

・リピーターの存在とループリック評価結果の変化：5名

子どもの参加状況（リピーター）



保護者の参加状況（リピーター）



【結果より】

- ・一度参加し、その後、再度参加したい、と希望するリピーターが年間5組存在した。
- ・子どもの中に、初回には目標値に達していない（例えば慣れない）児が存在した。
- ・保護者は、初回から目標値に達している保護者であった。
- ・親子遊び教室に継続して参加した家庭（リピーター）では、子ども・保護者ともにループリック評価の値が参加回数を重ねるごとに緩やかに向上・安定する傾向。

考察

ポピュレーションアプローチ型「親子遊び教室」の有用性について:

- ・参加者・学生からは、参加したことに対して肯定的な回答・感想が多く、
「親子遊び教室」への家族・学生の参画、満足度は良好
 - ・スタッフからは、親子遊び教室のパッケージ化はルーブリック評価を含めて
肯定的な回答・感想が多い
 - ・一度参加すると、その後参加する方（リピーター）が存在し、ルーブリック評価で経過を追うと子ども、保護者に正の変化が確認できた
- ➡「親子遊び教室」は、子ども・保護者・学生・スタッフにとって有用を示唆

課題:

- ・参加者は各回6～10組程度いるが、1歳6ヶ月健診と同日の参加者は4名と限局
 - ・限られたスタッフのみで展開にするには、もう少しパッケージ化の工夫が必要
- ➡健診同日の1日参加は保護者にとって負担が大きい可能性
- ➡健診に比べて「親子遊び教室」の大切さ・必要性の認識に職員・家族間で乖離

考察

今後の展望：

- ・『参加しなかった方々』への『なぜ参加しなかったか』の確認（アンケート）・調整へ
- ・ポピュレーションアプローチ型「親子遊び教室」のパッケージ化を目指し、
那須町におけるブラッシュアップと他小規模自治体における新たな導入の検討へ
- ➡今年度対象の1歳6ヶ月健診参加者55名へのアンケート調査を3月に実施
来年度に向けた那須町における「健診」と「親子遊び教室」のセット方法検討
- ➡学生の参画を続け、地域における課題、自分たちの強みを自らが知る機会へ
- ➡今回の事業経験を活かし、既に小規模自治体の強みを活かし子育て支援を展開している塩谷町（人口9,505名）において、1歳以降の幼児が生活する「こども園、保育園」において、「親子遊び教室」を展開し、保健・保育・教育が連携して保護者と一緒に子育てに取り組む企画を打診中
- ➡来年度も改善して事業に取り組むことで、県内の小規模自治体を中心とした子育て支援体制の整備を目指していきたい